

令和6年2月19日

令和5年度香南市『人・農地プラン』検討委員会 議事録

- 日時：令和6年2月19日（月） 15：00～16：00
- 場所：香南市役所 5階 会議室 501/502
- 参加者：委員 15名
小松大洋、石丸典男、三浦輝之、白石浩一、野村英希、矢野広章、楳佐古正志、橋本治夫、谷間久昭、松村一恵、高橋牧子、百田朋世、溝渕洋介、野島利和、北節子（検討委員会の名簿順）
事務局（農林水産課）2名
清遠大地、竹本節

- 目的：活動実績と計画等を説明し、委員から質問や意見を得ること
 1. 令和5年度地域計画活動概要
 2. 令和6年度地域計画活動計画（案）
 3. 次期の人・農地プラン検討委員について

- 内容：
 - 委員会の成立確認
委員の出席者は15名であることより、本委員会は開催要件を満たしたことを確認した。

 - 令和5年度地域計画活動概要の報告
活動内容について下記5点を中心に説明を行い、委員から理解を得た。
 - ① 地域計画について市民への周知方法
 - ② 座談会の進め方、ワークショップ形式についての研修
 - ③ モデル地区「佐古地区」の座談会に向けての関係機関の協議
 - ④ 「佐古地区」及びその他の地区の座談会
 - ⑤ 協議のとりまとめと公表

 - <質疑>
【溝渕委員】認定農業者の人数について、2022年の174名から2023年の233名と大幅に増加した要因は何か。
→（清遠）今年度は案内状に返信のない方に対して電話連絡で更新を促し、毎月定期的に聞き取り調査を行うことによって人数が増加した。

 - 令和6年度地域計画活動計画（案）の説明
令和6年度の活動計画の概要を説明し、委員から理解を得た。
 - ① 地域計画策定までのスケジュール

- ② 2回目以降の座談会の協議内容
- ③ 地域計画策定後の活動

<質疑>

【橋本委員】

●地域計画策定までに座談会を何回開催するのか。

→(清遠)令和6年3月に佐古地区で2回目の座談会の開催を予定しているので、その協議内容が今後の座談会の回数の参考になると思う。

●所有者が県外に居住している場合など意向確認が十分できない中、令和7年3月までの短期間で地域計画を策定するのは困難なのではないか。

→(清遠)地域計画は一回の策定で終わるわけではなく、策定後も見直し更新を継続することにより完成度を高めていくことが重要である。農林水産省としても令和7年3月までに完璧な策定を求めているわけではなく、担い手が確定できない場合には「今後検討」として、策定後随時話し合いを重ねて更新していくことになる。

●赤岡地区では農業を辞めたいと考えている人が多く、地域内に受け手が見込まれないが、どうやって農地を守っていくのか。

→(清遠)地区内に担い手が見つからない場合は、地区外から担い手を呼び込むなどの策を講じる。

➤ 次年度の委員就任依頼

引き続き各委員の専門分野を地域計画の策定に向けて活かして頂きたく、委員に継続頂くことを了承いただいた。また、副会長職は高知県農業共済組合東部支所長の楮佐古様に継続依頼し、了承を得た。

<質疑>

【矢野委員】人・農地プランから地域計画に移行したが、「人・農地プラン検討委員会」の名称はどうするのか。

→(小松課長)「人・農地プラン検討委員会」は条例で規定されているため、議会に諮り、名称変更が必要である。

→(清遠)他市でも、「人・農地プラン検討委員会」を設置していることから、情報の共有を行い対処する。